

ふくい社会福祉

2020
9
No.444

Fukui Social Welfare



こころでつながろう! 福井

本会では、「子ども未来支援事業」として、子ども食堂への立ち上げ助成を行って、地域ぐるみの子育て支援や多世代交流、地域の拠点（居場所）づくりを進めています。（4ページに関連記事）

コロナ禍で新たな孤立が生まれないように、地域では、さまざまな取り組みが始まっています。（特集に関連記事）



撮影協力：テンプル食堂よしざき（あわら市）

CONTENTS

2,3P 特集 コロナ禍の中での地域におけるつながりづくり

4,5P 報告

- ◆ 福井県まごころ基金助成事業助成先決定
- ◆ 子ども未来支援事業助成先決定
- ◆ メンタルヘルス研修をオンラインで開催
- ◆ 10月1日から共同募金運動がスタート

6,7P 社協TOPICS

- ◆ アクティブシニア養成講座受講生募集
- ◆ ケアマネ試験の会場変更について
- ◆ 福井県社会福祉大会のお知らせ
- ◆ ちょこっと就労参加者・受入施設募集
- ◆ ソウエルクラブ加入のご案内

8P 寄付・寄贈

サキドリ情報

- ◆ 福井県ボランティアセンターからのお知らせ



コロナに
負けない

市町社協実践!! 地域とのつながりづくり



大野市社協

買い物サロン中止中の4月～5月の期間に、和泉地区在住の高齢者（買い物弱者対象14件の内、希望者9件）対象にマスクの代理購入を実施。高齢者の不安をすこし解消することができ、感謝の声をいただきました。今後も住民とつながり、住みよい地域をつくっていきます。



勝山市社協

市内10地区に「地区社会福祉協議会」が設置され、それぞれにコーディネーターが配置されています。リアルタイムでの情報交換や、困りごとを解決していくため、スマートフォンを使って、グループLINEを作成し、各地区での状況を発信。常に情報交換を行っています。



鯖江市社協

鯖江市の神明小学校ボランティア委員会で「誰かのために役に立とう作戦」と題し、校区内のひとり暮らしの高齢者の方に、“元気になっていただければお便りを書く”取り組みを行っており、鯖江市社協では発送作業に協力しました。

永平寺町社協

ボランティアさんやサロン代表者、福祉委員の皆様に消毒用アルコールとチラシを配布しました。チラシの中身は脳トレやボランティア募集などについてで、感染対策に十分留意して行えるように周知しました。



池田町社協

サロンの参加者の皆さまに定期的にお便りと宿題（間違い探しや点繋ぎ、手工芸キットなど）をお届けしています。実際集まる楽しさとはまた違った楽しさや喜びがあり、ハガキで戻ってくる皆さんからの回答とコメントに、職員も元気を分けていただいています♪



おい町社協

社協が運営する小規模多機能ホームびわの木で、コロナに関する情報を利用者さんに知ってもらうために「コロナカルタ」を作りました。文言から全て職員の手作り。利用者さんからは「わかりやすい」、「そうだったのか…」という声をいただきました。



高浜町社協

和田地区公民館館長の呼びかけで、公民館講座「オンラインで健康体操教室」が開催され、社協のデイサービスや介護施設が参加しました。ボランティアや講師を呼ぶことが難しい中、お手本映像を見ながら一緒に体操ができる貴重な機会となりました。



若狭町社協

“地域づくり協議会”の活動の一環として、職員（地域福祉事業）がみそみ地区の有線放送を利用し、地域住民の方々に応援メッセージ及び、社協のPRを行いました。コロナの影響で、地域活動が自粛される中、地域住民とのつながりを継続するために社協人として、今後も「今できる事」に取り組んでいきます。



福井市社協

誰かに役立ちたい気持ちを形に「手づくりマスクプロジェクト」を実施し、市民から約3,330枚のマスクを集め、メッセージカードや飾りを添えて、福祉サービス事業所の職員等に寄贈しました。その他、閉じこもりやフレイル予防のための、「おうちでデイホームセット」(脳トレ、筋力アップ資料、小物づくりキット、健康情報等)をひとり暮らし高齢者等に配布しました。



小浜市社協

～思いを花にのせて～

花づくりで地域交流を深めてきた高校生。コロナ禍で課外活動が制限される中、校内で大切に育てられた花苗が住民・ボランティア・社協スタッフの手でプランターに定植し、地域に飾りました。人をつなぐ心の距離は離れません。



敦賀市社協

社協だよりの善意銀行のコーナーでマスクの寄付を呼びかけ、集まったマスクを、マスク配付の支援を必要としている市内の福祉施設、福祉事業所、ボランティアグループ等に配付しています。多くの方々のあたたかいお気持ちに心から感謝しています。



あわら市社協

福祉委員会を設置している行政区の交流会を、感染予防対策を行った上で8月に開催しました。地域での見守り活動やサロンでできる対策、工夫について話し合いました。参加者からも好評で、コロナ禍であっても、住民同士が学びあい、支えあうことの意義を感じました。



坂井市社協

生きがい通所(通所型介護予防事業)の休止に伴い、4月から2ヶ月間、週2回のペースで利用者へ電話による生活状況を確認。

『大変だけど社協もがんばって!』励ますどころから逆に励まされ「がんばるパワー」をいただきました。



越前市社協

越前市の協力のもと、特別定額給付金の案内通知に寄付のチラシを同封し、感染拡大防止に取り組む団体や、医療・福祉関係機関へ助成を行いました。寄付の際、応援したい団体・活動を選択できるようにし、市民の「応援したい」という思いを想起することができ、多くの寄付につながることができました。

一緒に、
がんばろう!
★ 越前市



南越前町社協

コロナ禍で中止となっている料理教室及び、会食サービス利用者の方に、広報紙を配布しました。今後も月1回配布予定です。内容は「食の自立支援」を目的にレシピを一品程度掲載していきます。いつかまた、みんなで集って楽しく食事が出来ることを祈り、地域住民との繋がりを維持していきたいです。



美浜町社協

福祉委員、民生児童委員により、ほとんどの集落で見守り活動が継続できていました。電話での安否確認や、居間から窓越しの訪問などの工夫をしながら実施していました。人とのかわりが極端に減っている今、社会との繋がりを切らないために、見守り活動が大きな役割を担っています。



越前町社協

“All For One!みんなで海を作ろう”と題して海の生き物イラストを障がいがある方やボランティアから募集。『越前の海』をテーマにイラストを自由に動く動画や巨大な作品にし、だれも見られるように様々な所で公開や展示をします。ともに作る楽しさや喜び、達成感や一体感を伝えたいです。



令和2年度(第30回) 福井県まごころ基金助成事業助成団体が決定

「福井県まごころ基金助成事業」は、県内の地域福祉の推進を目的に、さまざまな福祉活動に対して助成を行うもので、平成3年度から昨年度までに延べ959団体に対して、総額1億7千万円を超える助成を行っています。

今年度は、以下の6団体に合計916,000円の助成が決定し、去る7月20日(月)に助成交付式が行われました。



平成2年度(第30回) 福井県まごころ基金助成事業助成団体

区 分	No	助成団体	事 業 名
子ども(高校生以下)の福祉向上を通じた取組	1	特定非営利活動法人フードバンクふくい	ひとり親家庭・児童養護施設の子供たちの心のケアを図る事業
高齢者の福祉向上を通じた取組	2	ボランティアグループ 憩	歌や踊り、マジック、大道芸などのバラエティショー
障がい者(児)の福祉向上を通じた取組	3	特定非営利活動法人ぴーぶるファン	マスク作りを通じた地域との交流事業
	4	福井県腎友会	コロナ感染症対策のための県内患者自助・共助事業
地域全体の福祉向上を通じた取組	5	「友」サークル	高齢者のスポーツ活動を通じた地域交流事業
	6	ゲートキーパーザ・カーちゃんズ	紙芝居等による自殺予防の啓発活動事業

子ども未来支援事業(子ども食堂への助成) 助成先決定

この事業は、本会が設置している「松原ふれあい基金」を活用して、地域ぐるみで子どもの居場所づくりや食の支援に取り組む「子ども食堂」の立ち上げ支援を行うもので、平成28年度から昨年度までに延べ8団体に助成してきました。今年度は、以下の2団体に合計400,000円の助成が決定しました。

令和2年度子ども未来支援事業(子ども食堂への助成) 助成団体

No	助成団体名	活動地域
1	テンプル食堂よしざき	あわら市
2	特定非営利活動法人親子関係支援センターやまりす	福井市



去る8月30日(日)、あわら市のテンプル食堂よしざきを訪問しました。県境に近いこともあり、あわら市内だけでなく隣接する石川県からも家族連れが参加し、感染対策もとられる中、地元の皆さんが調理した食事を美味しく召し上がっていました。この日は縁日あそびも行われ、子どもたちは夏の最後の思い出づくりを楽しんでいるようでした。

初のオンライン研修を開催

メンタルヘルス研修 管理職編



「コロナの影響で研修がストップ

新型コロナウイルス感染が広がる中、福祉従事者対象の研修は、昨年度末から軒並み中止や延期となっていました。施設は利用者の安全を確保するため、外部との接触を制限するなど、非常に緊迫した中で仕事をしており、研修を受けたくても受けられない状況が続いています。

そこで本会では、「サービスの質をあげたいが、研修には出られない」「職員のモチベーションアップや情報共有のためにも研修を受けたい」という施設の声に応え、感染リスクのないオンラインを活用した研修方法について検討を始めました。

初のオンライン研修

こうして去る8月7日、「メンタルヘルス研修〈管理職対象〉」を初のオンライン上で実施しました。この研修は、例年、受講者が一堂に会す集合型で実施していましたが、今回はビデオ会議アプリZoom（ズーム）を使用し、講師と受講者が直接やり取りをするリアルタイム型で実施しました。

研修テーマは『やる気スイッチを押す！ほめ方・叱り方』。講師は株式会社話し方教育センター田中清貴氏（東京都）が務めました。田中氏は、効果的な指導方

法について講義し、その合間に個人ワークや数人ずつに分かれるグループワーク等を取り入れ、実践を交えながらの分かりやすい指導でした。受講者は、画面越しにも熱心にメモをする姿が見られ、受講後は、より効果的なほめ方、叱り方を学んだので、今後に活かしていきたいと話していました。

当日のトラブル回避のため、1週間前と当日開始前に接続テストを行い、徐々に操作に慣れてもらいながら進めたため、アンケートでは集合研修と変わらない理解が得られ、また受講したいという意見も多数聞かれました。

今後もオンライン研修の拡大を

感染対応のため取り入れたオンライン研修でしたが、移動の軽減等、他の利点もあることから、今後は集合型研修と併せた開催方法の検討を行います。

施設の負担が軽減され、かつ効果も得られる研修実施に向け、引き続き工夫を重ねていきたいと考えています。



オンライン研修の一コマ

つながりをたやさない社会づくりをめざして

新型コロナウイルス感染症の影響により、人と接触する機会を減らすことが求められ、地域では、孤立、孤独の問題が深刻化しやすい状況が生まれています。

このような時にも、様々な工夫をこらし、つながりを保ち続けながら、地域で助けを必要としている、障がいのある方や高齢者、子どもたち、災害で被災した方を支援する活動を、資金的に支える共同募金の必要性は益々高まっております。



10月1日から共同募金運動が全国一斉に始まります。

皆様の参加と協力をいただきながら、「つながりをたやさない社会づくり」のために、共同募金運動にご協力をいただきますようお願いいたします。

問合せ先

福井県共同募金会事務局

TEL.0776-22-1657 ホームページ⇒<https://akaihane-fukui.jp/>

アクティブシニア養成講座 受講生募集

脳トレサポーター養成講座

脳トレで元気な脳と仲間をつくりましょう！

●日程

10/16・10/30・11/6・11/13

実習日 11/20 ≪全6回≫

毎週金曜日 13:00～16:00

※実習日は11/16～19のうち1日（調整中）

●会場

県社会福祉センター 3階「老人研修室」
（福井市光陽2-3-22）

●講師

富山短期大学
教授 田淵 英一氏
県レクリエーション協会
事務局長 辻岡 世紀子氏

●申込締切

10月6日（火）



子ども食堂サポーター養成講座

「子ども食堂」でボランティア活動として
協力するための知識を学びます。

●日程

10/28（水） 10:00～14:00

●会場

浅田クッキングスクール
（福井市町屋1丁目5-31）

●講師

越前市みんなの食堂
代表 野尻 富美氏

◆調理実習

浅田クッキングスクール
校長 浅田 容子氏

●申込締切

10月21日（水）



●対象 県内在住の概ね60歳以上の方で修了後ボランティア活動に意欲のある方

●定員 20名 ●受講料 無料

●申込方法 本会ホームページ（<http://www.f-shakyo.or.jp>）から申込書（チラシ）をダウンロード。
必要事項を記入し、FAX・郵送・Eメール等にてお申込みください。

問合せ先
申込先

地域福祉課 地域支援グループ

TEL.0776-24-2433 FAX.0776-24-0041 E-mail:sukoyaka@f-shakyo.or.jp

第23回（令和2年度） 福井県介護支援専門員 実務研修受講試験のお知らせ

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、**試験会場を当初より変更**して実施します。
詳細は、ご自宅に郵送した受験票をご確認ください。

また、今後の状況により、急遽、延期または中止、
時間を変更する場合がありますので、本会ホームページをご確認のうえご来場ください。

●日時

10月11日（日） 10:00～12:00

●会場

福井県社会福祉センター（福井市）
福井商工会議所ビル（福井市）
武生商工会館（越前市）



問合せ先
申込先

人材研修課 研修グループ
TEL.0776-21-2294

第67回 福井県社会福祉大会（表彰） 開催のお知らせ

本大会については、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に考慮し、規模を大幅に縮小して、開催させていただきます。

当日は、被表彰者の代表者にお集まりいただき、表彰式を開催します。（例年実施しております、「記念講演」は中止させていただきます。）

なお、初めての取組みとして、大会の模様をライブ中継で動画配信させていただきますので、ぜひご覧ください。詳細が決まり次第、県社協ホームページ（<http://www.f-shakyo.or.jp>）等でお知らせします。

●日時

令和2年11月14日（土） 13:30から

●会場

調整中（ライブ中継による動画配信を予定）

問合せ先

総務企画課 総務企画グループ
TEL.0776-24-2339

ちょこっと就労

介護施設で働くことに興味はありますか？

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ちょこっと就労参加者募集中◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

内 容 「ちょこっと就労」とは、高齢者・主婦等で就労意欲のある方に、週数回・短時間の勤務で、食事の配膳・下膳、シーツ交換、掃除、洗濯等の補助的な業務のみを担っていただくパートタイム就労（事業所との直接雇用契約）です。

●資格不要 ●週2～4日 ●1回数時間程度

参加施設 ちょこっと就労募集中の約30施設は、福井県社会福祉協議会ホームページで公開しています！

申込方法 下記福祉人材センターに来所またはお電話いただくか、各施設に直接ご連絡ください。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ちょこっと就労受入施設募集中◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

内 容 「ちょこっと就労」の受入れを希望する施設を募集しています。

●日々の介護業務に付随する業務を任せることで、専門職員の負担軽減に！

●高齢者等の生きがい・社会参加の場を提供することで、施設の地域貢献に！

●令和元年度は約70名の方がちょこっと就労で働いています。



申込期限 年度内随時募集中

申込方法 申込用紙により、FAXまたはe-mailにてお申込みください。申込用紙は、ホームページからダウンロードもしくは下記までご連絡ください。

**問合せ先
申 込 先**

福井県福祉人材センター（人材研修課 人材グループ）

TEL.0776-21-2294 FAX.0776-24-4187 E-mail:jinzai-center@f-shakyo.or.jp



福祉・介護職員の福利厚生は

ソウェルクラブにおまかせ！

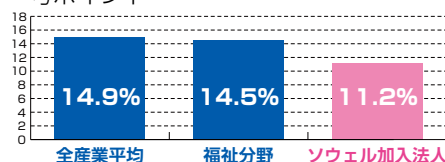
優秀な福祉・介護人材の確保・定着、
心身のリフレッシュ、ストレスの解消など
魅力ある職場づくりにぜひ、
「ソウェルクラブ」をご活用ください。

ソウェルクラブの仕組み(加入要件)

- 契約対象者 社会福祉事業または介護保険事業を
経営する者
- 加入対象者 社会福祉事業等を経営する法人内の
役職員全員（非常勤職員含む）
- 掛 金 1人当たり毎年度**1万円**
※非常勤職員は、1万円もしくは5千円（指
定するサービスのみ利用可）の選択制

加入のメリット

- スケールメリットの発揮
 - ・会員数**26万8千人**（2020年4月現在）のスケール
メリットを最大限に活かし、法人単独では実現
できないサービスを提供。
- 多種多様なサービスの提供
 - ・女性にも男性にも、若い人にも年配の人にも、
ご家族でもご利用いただけるサービス
 - ・会員交流事業など、それぞれの地域ニーズに
合ったサービス
 - ・社会福祉関係者のための、職場で役立つ講習会
 - ・職員個々人の選択の幅が広がるサービス
- 魅力ある職場づくり
 - ・職員の心身のリフレッシュやストレス解消
 - ・職員の就労意欲の高揚
- 質の高い人材の確保・定着
 - ・福祉・介護の職場への就職にあたっては、福利
厚生充実が、賃金や労働時間の次に重要な選
考ポイント



離職率
の比較

（出展）●全産業平均と福祉分野の離職率は、厚生労働省の「平成29年顧客動向調査」のデータ

●ソウェル加入法人の離職率は、2018年4月1日現在の会員のうち2018年度中に退職した会員（契約解除による退会を除く）の割合

寄付♡寄贈

心温まる寄付・寄贈に心から感謝申し上げます。
皆様の善意は有効に活用させていただきます。

♥7月8日(水)

寄贈者 KDDI株式会社北陸総支社 様 (石川県金沢市)
車いす (自走式) 8台
寄贈先 県内通所介護事業所 8事業所



左) KDDI株 川野北陸総支社長 様
右) 福井県社協 北専務理事

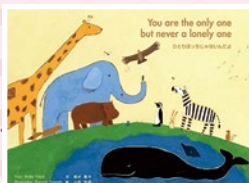
♥7月15日(水)

寄付者 第一三共株式会社 様 (東京都)
寄付金 20万円
寄付先 福井県社会福祉協議会

新型コロナウイルス禍で
生活に困っている方々に
役立ててほしい。

♥7月29日(水)

寄贈者 四国団扇株式会社 (香川県)
不織布三層マスク 600枚 他
寄贈先 福井県社会福祉協議会



♥7月29日(水)

寄贈者 NPO法人クロスワイズ 様 (東京都)
絵本「You are the only one, but never a lonely one」15冊
寄贈先 児童養護施設、県総合福祉相談所

新型コロナウイルス禍の中で
実施している、地域福祉活動に
役立ててほしい。

♥8月20日(木)

寄付者 明治安田生命保険相互会社福井支社 様
寄付金 100万9,600円
寄付先 福井県社会福祉協議会

私の地元応援募金贈呈式



左) 明治安田生命保険相互会社 山本福井支社長 様
右) 福井県社協 伊藤副会長

サキどり情報

令和2年度 ボランティアコーディネーター 資質向上研修会のご案内

受講料無料

福井県ボランティアセンターでは、コーディネーターの資質向上を目指すことを目的に、ボランティアコーディネーター資質向上研修会を行います。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐためWeb上で動画を視聴いただく研修となっています。
「ボランティア体験2020」の期間中配信していますので、この機会にぜひお申し込みください。

対象者	ボランティア担当職員、施設等のボランティア受入者等
申込期間	令和3年1月29日(金)まで随時受付
動画配信期間	令和2年9月18日(金)～令和3年1月31日(日)
内容	ボランティアの力を活かすための方法や知識など

福井県ボランティアセンター
マスコットキャラクター
「ランティ」



体験者募集

オータム&ウィンターボランティア体験2020



自分らしさを大切にしながらボランティアを体験してみませんか？
さまざまな活動プログラムがありますので、ぜひお問合せください。

受付期間 令和2年9月1日(火)～令和3年1月15日(金)

◀福井県ボランティアセンターQR(<http://volunt.f-shakyo.or.jp/>)

活動時間が
選べる!

※今年度のボランティア体験は、新型コロナウイルス感染予防・拡大防止を最優先し、無理のない範囲での体験とします。

【問合せ先】 福井県ボランティアセンター ☎0776-24-4987 E-mail: volunt@f-shakyo.or.jp